

ニチイキッズたひ西保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。

また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月9日（月）～2月22日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月6日（火）、7日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊び おもいっきり学ぶ」の保育理念に基づいた指導計画や食育計画・保健計画に沿った指導計画の立案に努めている。また子ども達のありのままの姿を受け入れながら子どもにとっての『最善の利益』のための保育、保育者としての役割を園内全体で話し合っ共有できるように取り組んでいく。
子どもの発達援助	子どもの発達過程を理解を深めるために、園内で発達に関する研修を行ったり、一人一人の子どもの発達に応じた援助ができるような配慮や工夫を話し合った。その時々に応じた子どもの様子をしっかりと観察し『子どもの最善の利益』を軸とした対応を心がけている。
保護者に対する支援	朝夕の送迎時には気持ちの良い笑顔でのあいさつを心掛け、子どもの少しの変化や成長等を伝えあい、密な情報共有をしながら信頼関係の構築に努めていった。また行事への参加の機会も増やし子ども達の保育園での様子を見てもらい、より安心感につなげられるようにしている。
保育を支える組織的基盤	職員間でのコミュニケーションをより図れるように15分MTGを増やし、自分の意見を発信し、他者の意見を傾聴する時間を作った。会議後には必ずシェアリングし自分の思いを伝え、他者と自分の意見の違いを認識・理解する場としている。何事に対しても園全体の事として捉え、一つのチームとして機能していくようにしたい。

総評
<p>今年度は『子どもの最善の利益』のための保育を目指し、毎月1回のMTGで『人権擁護チェックシート』を活用しながら目標に向け取り組んできた。全員で話し合う中で当月の内容を振り返り、次月の目標を立て全員が同じ事柄を意識する事で他スタッフの様子も見ながらの保育はより自分自身の意識づけに繋がっていったように感じている。また戸惑う事があった場合にはスタッフ同士で話し合いながら共通認識として進めていくことができた。コロナウィルス感染症が5類に移行し保護者の皆様に登園時室内に入室してもらうようになった事で園内での子どもの様子・室内環境・保育者のかかわり方など、これまで見えなかった部分を見てもらえる事でより信頼関係を築けることができた。</p> <p>次年度に向けては今年度に引き続き、スタッフ間での情報共有・連携の強化をより徹底できるようにし、風通しの良い保育園作りを進めていきたい。誰にでも明るく笑顔で対応し、信頼関係作りを大切にしていきたい。また保護者の思いに寄り添い共に子どもの成長を喜び合えるような関係作りを目指していく。</p>